37 01 06 01 03 066

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成24年07月18日(水)

事務事業	農産物安全安心対策事業	担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3713

総合振興計画				事業区分		
基本戦略	000002	田園空間を大切にするまちづくり		■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□
主要プロジェクト	000001	新しい地域農業展開プロジェクト				サービス拡充 有□
行政計画分野別施策名	大項目	000006	活力とにぎわいあふれる産業づくり＜産業振興＞	根拠法令個別計画等	深谷市補助金等の交付に関する規則	
	中項目	000001	全国に誇る農業の振興			
	小項目	000003	消費者ニーズに対応できる農産物の生産			

事業概要	消費者ニーズに対応した農産物を栽培・出荷するため、野菜の残留農薬分析や土壌分析を実施し、安全安心な農産物を供給するための事業です。イムノアッセイ法による残留農薬分析を実施しているふかや農業協同組合への補助金や深谷市病害虫対策会議への補助金を支出している。
目的 ※何のために	安全で安心な農産物の栽培及び生産に資することを目的とする。
対象 ※誰・何を対象に	農産物の生産者及び消費者
手段 ※どのように	市委託契約による残留農薬・土壌分析検査の実施。 イムノアッセイ法による残留農薬分析を実施している「ふかや農業協同組合」への補助。
成果 ※何を求めるか	深谷市農産物の安全を確認するとともに、食の安全志向を求める消費者にＰＲできる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費	農産物安全安心対策事業	781,940
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・残留農薬検査・土壌分析調査	・
・イムノアッセイ法抗体購入費補助	・
・病害虫の防除	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	2,219,000	2,219,000	2,219,000	1,543,000	846,000	846,000
	決算額	1,561,150	1,570,415	1,511,250	781,940	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,561,150	1,570,415	1,511,250	781,940	846,000	846,000
人件費	従事職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.49	0.46	0.46
	人件費相当試算※1	2,529,006	2,433,880	2,314,200	3,768,100	3,633,540	3,633,540
		0	0	0		0	0
(総事業費試算)		4,090,156	4,004,295	3,825,450	4,550,040	4,479,540	4,479,540

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
■	活動指標１	野菜の分析数	目標値	検体	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	□
			実績値		20.00	20.00	20.00	20.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			主要野菜の検体数						
		残留農薬検査を実施した検体数									
□	活動指標２	土壌分析数	目標値	箇所	13.00	13.00	13.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		13.00	21.00	20.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			主要野菜の作付に係る圃場数						
		土壌分析数を実施した圃場数									
□	成果指標１	基準値内農産物の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			安全安心な農産物の供給率						
		基準値内農産物数／分析農産物数									
□	効率指標１	１検体当たりの経費	目標値	千円	105.00	105.00	105.00	139.00	0.00	0.00	□
			実績値		123.00	97.00	95.00	225.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			過去３ヶ年の１検体当りの経費の平均値						
		総事業費／検体数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 震災後、埼玉県による放射性物質検査が行われており、その都度数値をホームページで公開。また、トマト黄化葉巻病の蔓延を懸念し病害虫対策会議においてその予防策や発生後の処理方法の講習を行い、注意喚起のチラシを作成・配布を行った。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 実施した野菜の残留農薬分析の結果、基準値を上回る数値は検出されず、安全な野菜の生産・供給を改めて確認することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	B	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 市の主要農産物において、効率的な検査が行えたと考える。放射性物質検査及び病害虫対策について大里農林振興センターと連携を取りながら事前に対応することができた。

評価者：農業政策係長　黒澤　敦

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	現状のまま継続していくため、改善改革プランは設定しない。
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農産物安全安心対策事業	担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3713

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

病害虫対策や放射性物質検査の数値の公開など、生産者・消費者双方が安心できる対策を今後も継続していく。

評価者	農業振興課長　吉田　秀夫

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

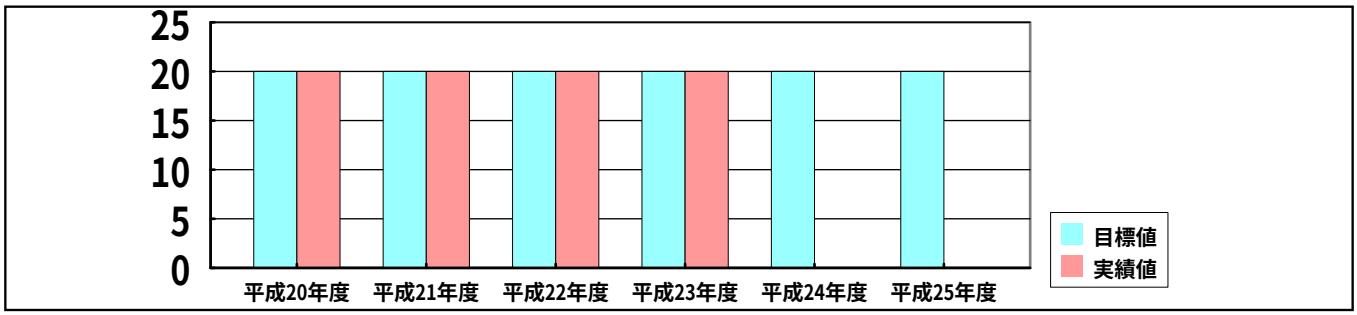
改善・改革案	

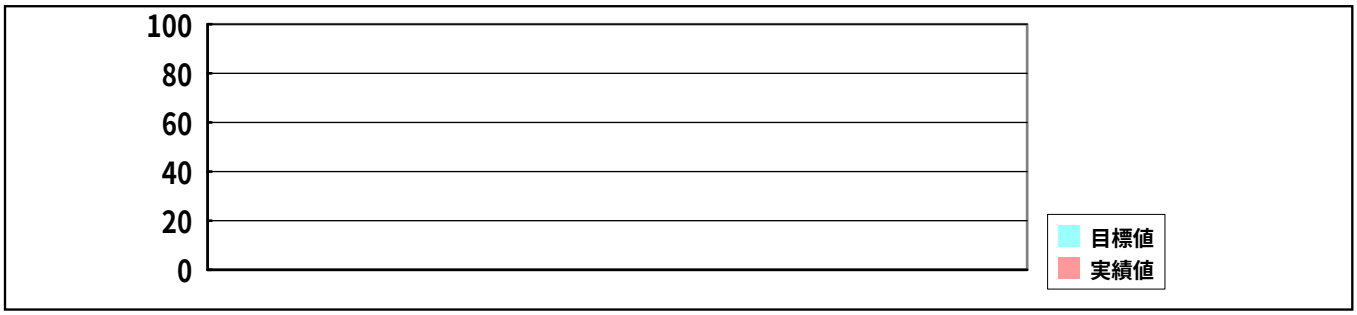
8．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

今後の課題	

9．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	野菜の分析数



区分		指標名	

区分		指標名